

JTU-HYOGO  
兵庫高等学校教職員組合  
日本教職員組合(日教組)

# 兵高教新聞

裏面

- ◇ 高校生平和大使ジュネーブ派遣
- ◇ 人権教育ひょうごスタディツアー案内 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

## 8/29 兵高教

# 「2023年度兵庫県人事委員会勧告に対する申し入れ」実施

2023年8月29日

兵庫県人事委員会  
委員長 田中 基康 様

兵庫高等学校教職員組合  
執行委員長 西村 恭介

### 2023年度兵庫県人事委員会勧告に対する申し入れについて

貴職におかれては、日ごろより教職員の労働条件改善にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

さて、人事院は8月7日、本年の官民較差に基づき、月例給の0.96% (3,869円) 引き上げと一時金の支給月数の0.10月分引き上げに関する勧告と、勤務時間に関する勧告、「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」および柔軟な働き方等を含む公務員人事管理に関する報告を行いました。

本年の給与に関する勧告は、月例給について、初任給を始め若年層に重点を置き、そこから改定率を逡減させる形で全職員の引上げを行う、一時金について期末手当及び勤勉手当の支給月数をともに0.05月引き上げる、としています。近年の物価上昇等が全ての世代の生活を圧迫している中、私たちは全職員の給料引き上げを強く求めてきました。今回の勧告では、若年層に重点を置きつつも俸給表全体の引上げ勧告となったことは、課題は残るものの一定評価できます。

教職員の勤務環境の改善、超勤多忙化の改善は遅々として進まない中、全ての教職員が奮闘を続けていますが、事態は限界に達しています。過酷な労働環境故に、人財確保も難しくなりつつあり、教員不足が深刻化する一方です。学校の安全・安心を守り、子どもたちの豊かな学びを保障するためには、教職員の雇用の安定と賃金・労働条件の改善・確保が不可欠です。

つきましては、貴職におかれましては、中立な第三者機関としての立場から、私たちの生活の維持・改善につながる勧告を行っていただくよう、下記事項についての誠意ある検討を強く求めます。

### 記

- 民間賃金実態に基づき、公民較差を正確に把握するとともに、勧告にあたっては給料表の改善を中心に公民較差を解消すること。
  - 月例給については、全職員の生活水準の改善につながる引上げ勧告を行うこと。
  - 一時金については、支給月数を引き上げるとともに、期末手当・勤勉手当への適正な配分を行うこと。
- 各給料表に号給を継ぎ足し、退職時まで1才4号昇給を保障すること。
- 公民比較における役職の対応関係については、従来の対応関係に戻すこと。
- 諸手当の改定については、地域の実情および職員の職務や生活実態を踏まえ、組合との十分な交渉・協議に基づき進めること。
  - 地域手当については、本県におけるこの間の経過を十分に踏まえ改善勧告を行うこと。
  - 通勤手当について、全額実費支給の勧告を行うとともに、交通用具に係る通勤手当を引き上げ、長距離通勤者の負担軽減を図ること。また、交通機関・交通用具併用者に対する駐車場・駐輪場について措置を拡充すること。
  - 住居手当について、改善勧告を行うこと。
- 会計年度任用職員をはじめとする臨時・非常勤職員の任用や待遇、休暇制度について、常勤職員との権衡をはかる観点から、人事委員会として改善に向けて必要な措置をはかること。
- 定年年齢の引き上げにともない、60歳超の職員について定年延長対象者と暫定再任用者との間に大きな処遇の格差が生ずることに対し、再任用職員の一時金の支給月数増や生活関連手当の支給を含め、賃金水準の改善を行うこと。
- 学校における働き方改革を着実に推進するため、厳格な勤務時間管理をはじめ、長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現に資する施策の構築など、人事委員会として必要な対応をはかること。
  - 「上限規制」が遵守されるよう、教職員の勤務時間の適正化を強力に推進すること。
  - 学校現場の特殊性を十分に考慮し、休憩時間の確保や、児童・生徒と向き合う時間の確保等について、実効性あるとりくみを推進すること。
- 各種休暇制度を新設・拡充し、総合的な休暇・休業制度を確立すること。
  - 病気休暇の制度・運用の改善に向けた勧告を行うこと。
  - 子どもを生み育てることの支援策の一環として、妊娠障害休暇等を新設すること。また、子育て支援休暇の取得要件をさらに拡大すること。
- 実効性のあるハラスメント防止策を引き続き推進するため、積極的な対応を行うこと。
- 学校現場の特殊性を十分に考慮し、現業職員の身分および給与水準の改善を行うよう、任命権者に対して要請すること。
- 職員採用にあたっての国籍条項を全職種で撤廃すること。
- 全人連の参考モデル給料表に基づいた高等学校教育職給料表を作成すること。
- 新型コロナウイルス感染症について、引き続き感染防止対策が求められることを踏まえ、適宜、必要な措置を講じること。

以上

兵高教は、8月7日の人事院による給与等に関する勧告を受け、8月29日、県人事委員会に対して「2023年度兵庫県人事委員会勧告に対する申し入れ」を行いました。

冒頭岩井書記長より申し入れ書を手交し、県人事委員会に対して、特に①月例給与の引き上げ勧告を行うこと、②一時金について、全支給月数を引き上げるとともに、期末手当・勤勉手当への適正な配分を行うこと、③会計年度任用職員をはじめとする臨時・非常勤職員の任用や待遇、休暇制度について、常勤職員との権衡をはかる観点から、人事委員会として改善に向けて必要な措置をはかること、④妊娠障害休暇の新設など、休暇・休業制度を拡充すること、⑤学校における働き方改革を着実に推進するため、厳格な勤務時間管理をはじめ、長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現に資する施策の構築など、人事委員会として必要な対応をはかること、⑥現業職員の身分及び適用給料表の抜本的改善を行うよう、任命権者に対して要請すること、⑦実効性のあるハラスメント防止策を引き続き推進するため、積極的な対応を行うこと、などについて強く申し入れました。

これに対し県人事委員会より、「8月7日に出された人事院勧告を前提として、現在本県の実情を考慮しながら精査しているところである」「本日の申し入れの主旨をふまえて、公正・中立な第三者機関としての役割を果たし、適切な勧告・報告ができるように努力していく」などの説明・回答があり、申し入れを終えました。



2023 人権教育ひょうご

スタディツアー in 東京

日時 10月8日(日)～9日(月・祝)

内容 東京都内フィールドワーク

①関東大震災における朝鮮人虐殺事件を学ぶ

講師 中條克俊さん(中央大学)

②浅草・弾左衛門の史跡を辿る

講師:近藤登志一さん

(部落解放同盟東京都連合会書記長)

※ 1923年9月に発生した関東大震災では、震災の被害とは別に、流言蜚語により朝鮮人をはじめ多くの人々が虐殺される事件が起きました。

発災から100年をむかえた今年、あらためて何かおこったのかをフィールドワークにより学んでみませんか。

また、東日本の皮革産業の拠点だった浅草エリアで、弾左衛門の史跡を辿りながら部落差別の問題についても学びます。

★詳細は書記局にお問い合わせください。(各分会に案内チラシを送付しています)

第26代高校生平和大使

ジュネーブ・国連欧州本部訪問

長崎・広島をはじめ全国16都道府県から選出された高校生平和大使が、4年ぶりのジュネーブ・国連欧州本部訪問を終え、無事帰国しました。

高校生平和大使は、外務省から「ユース非核特使」を委嘱されており、軍縮会議の傍聴などに加え、レジンバル国連軍縮部ジュネーブ事務所長と約1時間半にわたり面会し、ヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を伝え、国連のとりにくみを強化するよう求めました。

レジンバル所長からは「平和大使の活動は世界を変えることができる。これからも発信を続けてほしい」などと激励されました。

また、派遣が中断していた4年間に全国で集めた署名約62万人分を提出し、千羽鶴の贈呈(兵庫県代表・松尾美雨さんが担当)も行いました。



高校生平和大使ジュネーブ訪問(外務省サイト)

学習会・集会のご案内

◆2023年度日教組平和集会

とき 10月21日(土)～22日(日)

ところ 岩国国際観光ホテル

◆人権啓発研究第44回兵庫県集会

とき 10月28日(土) 10:00～16:00

ところ 兵庫県立のじぎく会館

◆第33回日教組人権教育実践交流集会

とき 11月3日(金・祝)～4日(土)

ところ ホテルメトロポリタン秋田

※詳細は書記局にお問い合わせください。

青年層・女性の積極的参加をお待ちしています。

Advertisement for the 34th Education Research Meeting (兵高教 第34次教育研究集会) held on October 14th at the 5th floor of the Kobe Education Center. It includes details for the general meeting (全体会) and sub-committees (分科会), a commemorative lecture by Ritsuko Takeda, and contact information for the organizing committee.

2023年度青年部職場実態調査

目的: 職場実態の振り返りによる課題把握、青年組合員の労働者意識の向上、要求・運動づくりに活用できる資料の作成

回答期間: 9月29日(金)まで

https://forms.office.com/r/BGSmAnXQBG

※上記URLから回答ページに入るか、右の二次元コードを読み取り回答してください。



※回答の際は、学校や職場のパソコン等は使用せず、個人のパソコン、タブレット端末、スマートフォン等を使用してください。

武田緑さんプロフィール

大阪出身。Demo代表/教育ファシリテーター/学校DE&Iコンサルタント。

多様性が受けとめられる学校づくり、民主的な教育の発展をテーマに、企画や研修、執筆、現場サポート、教育運動づくりにとりにくんでいる。これまでに、全国各地での教職員研修や国内外の教育現場を訪ねる視察ツアー「EDUTRIP」、多様な教育のあり方を体感できる教育の博覧会「エデュコレ」などを実施してきた。

フリーランスとしての活動のほか、学校現場の声を世の中に届ける「School Voice Project」を立ち上げ、法人化。現在は理事兼事務局長として活動に従事している。著書に『読んで旅する、日本と世界の色とりどりの教育』(教育開発研究所)がある。

[https://dem0.work/ より引用]

◆教職員・保護者・教職をめざす大学生のみなさんなど、どなたでも参加できます。幅広い声かけをお願いします。

◆全体会のみ、分科会のみ参加でもかまいません。



兵高教は、教職員一人ひとりの働きかた、暮らしかたを支援しています。